

一般質問通告書

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

2021年8月20日

議席番号 12番

質問者 浅見 みどり

東村山市議会議長 あて

記

I 市のコロナ対応をもっと市民に知らせて

- 1 現在の東村山市内の感染者の状況をうかがう。年代別、クラスターの有無、感染経路、特徴をうかがう。
- 2 市職員の感染状況、感染者発生時の対策、濃厚接触者、濃厚接触者ではないが同一の職場に勤務している職員の検査状況をうかがう。
- 3 新型コロナ対策会議が開催されているが、この会議の役割は何か。その中で、検査拡充についてどのような意見が出ているかうかがう。
- 4 市が真剣にコロナ感染を止めるために議論し、対策を考えていることが市民に伝わることは重要です。新型コロナ対策会議の内容をどのように市民に公表しているかうかがう。
- 5 多摩小平保健所管内5市新型コロナウイルス感染症対策連絡協議会のこれまでの開催日程、議事内容をうかがう。

II 検査の拡充と市民が安心できる支援を

- 6 感染を抑えるためには検査を増やすことが必要と考え、日本共産党会派としてこれまで何度も検査の拡充について求めてきた。感染が爆発的に増え、自宅療養が増えている現状を考えれば、市としてもっと検査を増やすべきではなかったか。現在の市の見解を改めてうかがう。
- 7 高齢者施設等感染拡大防止対策推進事業補助金・障がい者施設等感染拡大防止対策推進事業補助金を使った検査について、それぞれの事業でうかがう。

	高齢者施設等	障がい者施設
①実施事業所数と市内事業所総数に占める割合		
②検査件数総数 ※PCR検査数 ※抗原定量検査数		

8 7の事業の効果、課題など市としてどのようにとらえているかがう。

9 8を踏まえて、学校施設・保育関連施設・公民館・図書館や社会福祉協議会・市役所でも同様の検査が必要と考えるが、現在の市の見解をうかがう。

10 検査、ワクチン接種と同時に必要なのは陽性者が安心して休める環境を整えること。感染者に対する市独自の支援を早急に進めるべきと考えるが市の見解をうかがう。

11 地方交付税交付額が確定しているが、当初予算と確定後の地方交付税の差額をうかがう。そのお金を使って検査拡充に使うことはできないのか。

Ⅲ 清瀬市と合同で設置したPCR検査センターについて

12 PCR検査センターの活用状況はどうなっているか。開設後から現在までの月ごとの検査数、検査可能上限数をうかがう。

13 これまで検査の拡充を求めてきたが、検査センターについて改善された点、清瀬市、清瀬市医師会、東村山市医師会との協議内容を詳細にうかがう。

Ⅲ 感染者・濃厚接触者・検査を受ける人への偏見をなくす施策を

14 小中学校での感染が拡大している。感染の不安・濃厚接触・検査結果待ち等を理由に、学校を欠席しても不利にならないような対策についての検討内容をうかがう。また、子ども達・保護者・教職員からはどんな声があるかがう。

15 感染者・検査を受けた方・医療従事者が差別・偏見の対象となることは絶対にあってはならないが、保育施設・障がい者施設の利用者の家族や保護者が検査を受けた事が他の利用者に公表されない配慮が必要と考えるが、市の対策はどのようになっているか。